

多武峰地区自主防災会(桜井市)

項目	内容
世帯数・人口	
◇世帯数	71 世帯 (平成26年6月1日現在)
◇人口	216 人 (平成26年6月1日現在)
◇内65歳以上人口(高齢化率)	111 人 (51.39%)
地域の特徴	
◇まちの特徴	桜井市の中心部より南へ約7キロにある多武峰談山神社周辺の各地区で構成され、県道の整備が進み吉野、明日香、宇陀方面への交通の拠点となっている。
◇過去の災害、想定される災害	平成25年9月の台風18号により県道吉野桜井線や周辺市道において大規模な土砂災害が発生し、2つの地区で一時孤立状態に陥る。地区内には急傾斜地が数多くあり、地震では震度6強が想定されており、道路法面からの巨大な岩の落下による通行止めや風水害では岩を含んだ土石流が想定される。

設立年月日	平成21年10月1日
設立のきっかけ	地域全体が山に囲まれ土砂災害の危険性が非常に高く、発災時には地域住民間の相互協力による防災・減災活動が必要不可欠と考えられる。本防災会は百市・針道・八井内・飯盛塚・鹿路・多武峰・西口の7地区により共同設立・共同運営している。
目的・キャッチフレーズ	自助・共助に対する取り組みは、日頃からの「体で覚える防災活動！」をモットーに取り組んでいる。
予算規模	市からの補助金43,000円＋各地区からの助成金 合計約15万円の予算
主な活動内容	
◇防災活動	事務局員による災害を想定したグループミーティングや地区住民に対する防災だよりを年4回発行し、住民の災害に対する備えや対応について意識の高揚に努める。また防災訓練(避難・情報伝達・AED救命・初期消火など)を定期的を実施し、減災を目的とした住民啓発を実施している。
◇防災と一体的にとりくんでいる活動(防犯・美化・福祉など)	高齢者世帯も増加傾向にあることから、地域住民の世帯台帳の作成を行い発災時に備えている。また観光シーズン到来に合わせて、地域住民によるクリーンキャンペーン実施時には、防災学習会として消火訓練等を実施している。
◇その他特徴的な活動	山間地域のため救急車(救命士)到着までに相当な時間を要するため、救命率向上を図る必要があることから普通救命講習の受講促進を図る。(普通救命講習 I 現在36名受講修了済)
主な連携先(行政・学校・企業・近隣の団体など)	桜井市役所(危機管理課)・桜井市消防団八井内部・多武峰7ヶ大字区長会・多武峰観光協会・多武峰白寿会・談山神社 他